

# イチオシ!

## M OVIE

### 『モンサントの不自然な食べもの』

知らないうちに私たちも口にしていないかもしれない遺伝子組み換え作物は、バイオ化学技術によって生まれた“不自然な食べもの”。本作は、日本のみならず開発途上国をも巻き込む全世界規模の「食」や「命」の問題を取り上げたドキュメンタリー。世界の遺伝子組み換え作物市場の9割を握る巨大多国籍企業「モンサント社」の実態を追う。食と農業の安全性、そして環境や生物多様性を守る重要性をあらためて考えさせられる作品。(文=高倍宣義)



2008年/フランス・カナダ・ドイツ/108分  
 監督：マリー＝モニク・ロバン  
 公開：9月1日(土)より、東京・渋谷アップリンクほかにて全国順次公開  
 URL：www.uplink.co.jp/monsanto/  
 配給：アップリンク TEL：03-6821-6821

## E VENT

### 『食卓から世界をのぞく —みんなのごはん事情—』

JICA横浜、横浜市、FAO(国連食糧農業機関)日本事務所、国連WFP(世界食糧計画)協会の共催で、世界の食料事情について学べるイベントが開催される。飢餓や飽食、食料生産が自然環境や人々の生活に与える影響など、食を通じた世界と日本のつながりについて見てさわって学べる展示や、アフリカの食がテーマのセミナー、世界を知るクイズラリーやワークショップなどの体験型イベントが盛りだくさん。夏休みの自由研究の参考に足を運んでみては。

会期：7月27日(金)～9月2日(日)  
 9時半～18時(入場は17時半まで)  
 会場：JICA横浜(横浜市中区新港2-3-1)  
 URL：www.jica.go.jp/yokohama/  
 問：JICA横浜 TEL：045-663-3251



## B OOK

### 『はじめての国際協力 変わる世界とどう向きあうか』

テロ、紛争、自然災害などで目まぐるしく変化するこの世界。それに伴い、開発途上国の現場では何が起きているのか。大阪大学とお茶の水女子大学で教鞭を執った内海成治氏(元JICA国際協力専門員)が教え子の大学生・院生の論文を編集。東ティモールでのCSR(企業の社会的責任)活動、北部ウガンダの元子ども兵への支援、ケニアのマサイ族への教育支援など、現地調査を通じた若者の視点で国際協力の現状と課題が取り上げられている。

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ



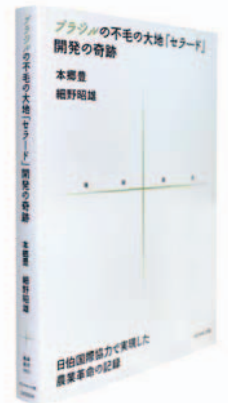
内海成治 編  
 昭和堂  
 2,940円(税込)

## B OOK

### 『ブラジルの不毛の大地「セラード」 開発の奇跡』

ブラジル内陸部に広がる熱帯サバンナ地帯「セラード」。かつて不毛の原野とされたこの土地が、1970年代以降わずか四半世紀で世界有数の穀倉地帯へと変ぼうを遂げた。この奇跡の農業革命を可能にしたのは、日本とブラジル共同の農業開発プロジェクトだった。著者は、セラード開発に長年携わった本郷豊JICA客員専門員と南米研究の第一人者である細野昭雄JICA研究所所長。日本のODAが果たしてきた役割、そして世界の食料問題についても考えるきっかけとなるはず。

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ



本郷豊、細野昭雄 著  
 ダイヤモンド社  
 1,680円(税込)